

◇—————◇
公益社団法人 日本航空機操縦士協会
メールマガジン Vol.13 2018/2/15

◇—————◇
いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。
世間では、インフルエンザが猛威を奮っているようですので
読者の皆様も罹患せぬようご注意くださいませ。

さて、前回から始まった航空豆知識では「国産史上最大の航空機は？」
という内容でお送りします。
皆様、答えはわかりますか???

★——INDEX——★

- [1]【役員コラム】十分な天候確認で安全飛行を
- [2]【支部便り】九州支部活動紹介
- [3]【航空豆知識】国産史上最大の航空機は？
- [4]【ご案内】JAPA 各支部主催 航空安全セミナーの予定
- [5]【2月-3月】JAPA 主催 セミナー・イベントの予定

★—————★
[1]【役員コラム】十分な天候確認で安全飛行を
副会長 菅生 徹

★—————★
二月は佐賀で陸上自衛隊のヘリコプターの事故、また先日の
ロシアでの旅客機の事故と大変残念な事に航空事故が国内外で
続いております。
お亡くなりになりました方々には心よりお悔やみ申し上げます。

さて、この時期は悪天候による遭難事故が山でも多く発生します。
事前に十分な天候の確認、万一に備えての準備はどのように行って
いるのだろうかといつも考えさせられます。

天候の確認は、操縦士にとって、重要な確認事項の一つですが、一昨年、現役を退いた山岳の物資輸送のベテラン操縦士との話を思い出されます。

「現役時代は、仕事の予定が一週間以上先にも関わらず、毎日毎時天気予報を確認し、天気の周期、悪天時の対応等を常に考えていた。現役中は、いつも緊張感を持っていた事を退任して初めて気が付いた。」と。彼は、常日頃の周到な準備を行う事で、状況に適った判断・行動を実施し、その結果、無事故と云う素晴らしい実績を築いたと思います。この様な着実な行動こそが、形の無い「安全」という概念としてその判断、行動の中に具体的に反映し、その行動の継続(繰り返し)が、安全のスキルをより高めると一人の操縦士の経験を通して確信致します。

「如月」、まだまだ厳しい寒さが続く時期ですが、暦の上では、「立春」を迎えました。

言葉からは、穏やかな日々をイメージしますが、この頃の天候は、一年で最も変化の激しい時期といわれ、十分な注意を払う事が大切です。

飛行準備の際は、安全の為には十分過ぎる程の準備を行い、素晴らしい空へ出発して下さい。

また、それでも判断に迷う時には、「迷わず安全サイド」に舵を取りましょう。

★

[2]【支部便り】九州支部活動紹介

九州支部長 三好 恒紀

★

昨年、九州支部長に就任いたしました三好です。

今回は九州支部の活動について、ご紹介させていただきます。

九州支部では6月に航空安全講習会を熊本にて実施いたしました。

私は講師務め「IFRとVFRの共存」について講演し、受講者の皆様へフライトに際して安全の共有を図りました。

また、昨年9月には佐賀空港で実施されたスカイスクエアへ参加いたしました。

九州地区では約2年ぶりとなるこのイベントはお子様を対象に毎年全国各地で実施しており、工作教室や、飛行機のぬり絵コーナーのほか、パイロットとCAによるトーク・クイズとじゃんけん大会を実施しました。

このイベントには数百人のお子様たちが参加し、普段触れ合う事の少ない航空業界のお話に興味津々の様子だった事を今でも鮮明に覚えています。

その他、海上保安庁鹿児島空港見学、築城基地周辺安全ミーティングや管制官との意見交換会に参加し、九州地区を中心とした航空安全に寄与すべく、様々な安全への理解と航空従事者とのつながりを深めております。

このように航空情報を年間を通し皆さまに伝えることが出来るよう来年度以降も更に充実した支部活動を行なっていく所存です。

今後とも皆様のご協力、ご支援賜われますようお願い申し上げます。

★

[3]【航空豆知識】国産史上最大の航空機は？

★

実用化された国産航空機で最も大きい（全長、全高の寸法）ものは何か？
お分かりになりますか？

・・・・・・答えは、もうお分かりの方もいらっしゃると思いますが、防衛省技術研究本部（（現）防衛装備庁）が2001年から研究・開発し、川崎重工業株式会社が製造、現在、航空自衛隊が運用する「C-2 輸送機」になります。

全長：43.9m

全幅：44.4m

全高：14.2m

最大離陸重量：141 t

と巨大な航空機です。

C-1 輸送機（最大離陸重量：45 t）の後継機であり、最大離陸重量だけみても、先代を圧倒的に凌駕しています。戦術輸送機としての任務は基より、災害、国際平和協力及び緊急援助等の各種事態への対処能力が付与され、空中給油機能も備えています。

最近の話題としては、ドバイ航空ショーに展示され、諸外国から注目を集めました。

様々な用途に活用できる発展性を有しており、今後の活躍が期待されています。

★

[4] 【ご案内】 JAPA 各支部主催 航空安全セミナーの予定

★

各支部では以下の予定で航空安全セミナーを開催致します。

- ・ 東日本支部；3月12日 15：00 場所：新木場ホール（東京都江東区新木場）
- ・ 中部支部；3月3日 13：30 場所：ウインクあいち（名古屋市中村区）
- ・ 西日本支部；3月18日 13：00 場所：ドーンセンター（大阪府中央区大手前）
- ・ 九州支部；3月17日 13：30 場所：リファレンス博多近代ビル（福岡市博多区博多駅東）

お申込等詳細についてはホームページにて随時ご案内致しますのでぜひご参加くださいませ。

<https://www.japa.or.jp/>

★

[5] 【2月-3月】 JAPA 主催 セミナー・イベントの予定

★

定員まであと僅か・・・お申込はお早めに！

・ Yes I Can 航空教室 2018年2月24日(土)<愛媛>

<https://sites.google.com/a/japa.or.jp/yes-i-can/>

これから計器飛行証明を取得しようとする方、
IFR の知識を得たい方におすすめの講座です。(全 8 回開催)

- ・ 第 4 回 IFR 学科講座 2018 年 2 月 25 日(日)＜東京＞
- ・ 第 5 回 IFR 学科講座 2018 年 3 月 4 日(日)＜東京＞
- ・ 第 6 回 IFR 学科講座 2018 年 3 月 17 日(土)＜東京＞

※第 7 回、第 8 回については 4 月以降の開催を計画しています。

https://sites.google.com/a/japa.or.jp/ifr_lecture/

-
- ・ 小型航空機セーフティセミナー 2018 年 3 月 5 日(月)-6 日(火)

※両日定員に達しましたので受付締め切っております

2018 年度のイベント、セミナーについては HP に掲載後、
改めてご案内をさせていただきます。

* * * * *

★次回の配信は 3 月初旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法
については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

【発行】公益社団法人 日本航空機操縦士協会

電話 03-6809-2902

メール japa@japa.or.jp

ホームページ <https://www.japa.or.jp>
